

アンジェリーナはバレリーナ

キャサリン・ホラバード 文

ヘレン・クレイグ 絵

おかだよしえ 訳

講談社 2003年（初版1985年大日本絵画）

1600円



ねずみの女の子アンジェリーナは、バレエが大好きです。踊りだしたらもう夢中で、遅刻したり、ミルクのつぼをひっくりかえしたり…。困ったお母さんはお父さんと相談して、アンジェリーナをバレエ教室に通わせることにしました。はじめ、1985年に大日本絵画より「バレエのすきなアンジェリーナ」として出版されました。シリーズには「アンジェリーナはじめてのステージ」などがあります。



海べのあさ

ロバート・マックロスキー 文・絵

石井桃子 訳

岩波書店 1978年 1700円

ある朝、歯が抜けかけているのに気づいたサリーは、お母さんに大きな子になったしるしだと言われて、動物たちや港で会った人みんなに報告します。はまぐりをとったり、お父さんとボートで港へ買い物に行ったり、海辺の生活が描かれています。

うらしまたろう

時田史郎 再話

秋野不矩 画



福音館書店 1974年 900円

うらしまたろうは、いじめられていた亀を助けたお礼に竜宮へ招かれます。竜宮で楽しく暮らすうちに、うらしまたろうは里が恋しくなり、玉手箱をもらって地上へ帰ります。有名な昔話の絵本です。